

# グリコールエーテル系洗浄剤 ファイントップシリーズ

フラックスの複合残渣に対して秀逸な相容性・除去性を実現！

消防法に該当しない準水系のJ210と引火点を持つSシリーズの2種のラインナップ！

## 主な特徴

主成分に相溶性・除去性の両方を兼ね備えたグリコールエーテルを採用しているため、極性化合物と非極性化合物が複合したフラックス残渣に対して有効に働きます。また、KB値が400以上と極めて高いため、固くこびり付いたフラックス残渣を強力に溶解する力を持っています。

引火点を持たない非危険物のJシリーズ(J210)は解放型の卓上・超音波洗浄機等を使用する際の溶剤として適性が高い他、揺動洗浄やスプレー洗浄との相性も良く、広範囲な洗浄方法に合致する汎用タイプです。

引火点を持つSシリーズ(S110、S130)は酸・アルカリ・界面活性剤を一切含まない化学的中性液体であるため、液残渣による腐食を気にする必要がありません。また、揺動洗浄(約4分)の単一工程だけで、ほぼ全てのポストフラックスおよびハンダに含まれるヤニを完全に洗い落とす事ができます。



## 物性値

\*J210は水分率が約15%を切ると引火点が発生しますので、水分濃度管理が必要です。

項目	品番	J210	S110	S130
沸点範囲( )		100 ~ 175	174	183
引火点( )		なし	68	75
水分率(%)				
比重 20		0.96	0.927	0.96
表面張力 (dyne/cm)		32.0 (25 )	29.9 (20 )	28.8 (20 )
KB値		400以上	400以上	400以上
消防法		非危険物	4類 2石	4類 3石
出荷形状	ドラム缶	185kg	185kg	190kg
	石油缶	16kg	16kg	16kg

## フラックス洗浄力比較

洗浄条件	超音波洗浄(2分)
	すすぎ 乾燥

### 評価

= 除去率:100% (シミなし)  
 = 同上 (僅かにシミあり)  
 = 除去率:90%以上 (シミあり)  
 × = 除去率:89%以下 (汚染物残留)

条件	品番	J210	S110	S130
常温				
加温(50 )				

## 素材への影響

(評価: 変化なし / 変色)

金属	品番	J210	S110	S130
アルミ				
銅				
真鍮				
SUS				
鋼板				

### 1) 金属

各試験片(50×20×1mm)を23±2 で5日間、浸漬した後、外観変化を目視評価した。

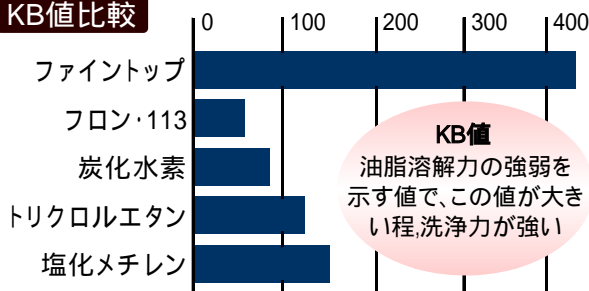
### 2) プラスチックに対する影響

各試験片(50×20×2mm)を23±2 で72時間、浸漬した後、外観変化を観察した。(7日間、継続したが状態は同じ)

( 変化なしを表す)

試験片	品番	J210	S110	S130
ポリカーボネート				一部溶解
PE (低密度)				
PE (高密度)				
PP				
PBT				
ポリスチレン				溶解
硬質塩ビ				
エポキシ				
6.6-ナイロン				
ポリアセタール				
ABS				溶解
アクリル				溶解

## KB値比較



### 3) エラストマーに対する影響

各金属片(50×20×2mm)を23±2 で72時間および7日間、浸漬した後、体積変化を測定した。(単位: %)

試験片	品番・浸漬時間		J210		S110		S130	
	72時間	7日間	72時間	7日間	72時間	7日間	72時間	7日間
天然ゴム	0	0	0	2	80	80		
SBR	0	0	0	7	128	130		
ブチルゴム	0	0	0	0	0	0		
ウレタンゴム	6	14	30	44	118	128		
シリコーンゴム	0	0	0	0	37	37		
CR	0	0	12	23	188	190		
NBR	0	0	39	65	246	247		
EPDM	0	0	0	0	12	12		
バイトン	0	0	55	61	258	275		